

全国有力100社
アンケート調査

「弱気」と「やや弱気」で全体の50%に

9月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「9月の相場動向」の結果がまとまった。最も多かったのは「やや弱気」で、39%となった。「弱気」の11%を合わせた弱基調の回答は全体の50%に達した。2番目に多かったのは「横ばい」で、38%だった。一方「やや強気」は11%、「強気」は1%で、両者を合わせた強基調の回答は12%にとどまった。

◆業種別～電炉は「横ばい」が40%、商社・シッパーは「やや弱気」が43%、市中業者は「横ばい」「やや弱気」がともに39%

電炉メーカーは「横ばい」が40%でトップを占めた。次いで「やや弱気」が33%、「弱気」が20%と続き、「やや強気」は7%だった。商社・シッパーは「やや弱気」が43%で最も多かった。次は「横ばい」の29%、3番目は「弱気」と「やや強気」が並んで14%だった。市中業者は、「横ばい」と「やや弱気」が39%で並んでトップとなった。次は「やや強気」の12%で、「強気」の1%を合わせた強基調は13%となった。「弱気」は9%となった。

◆地域別～東日本と西日本は「横ばい」が、中部は「やや弱気」がそれぞれトップ

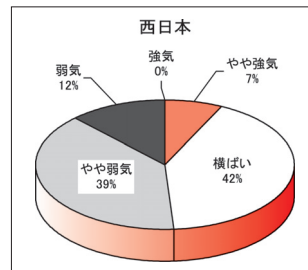
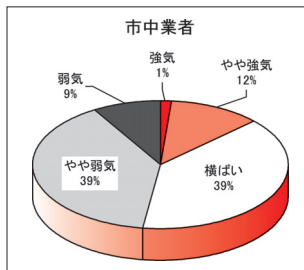
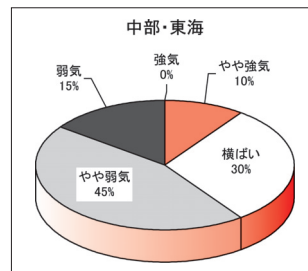
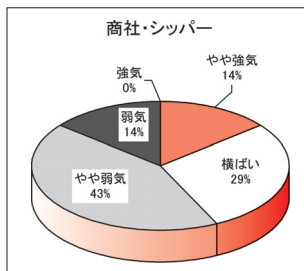
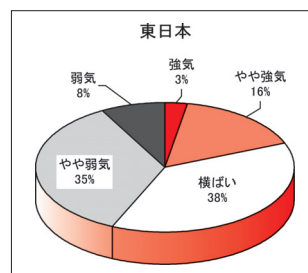
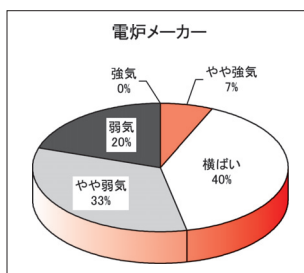
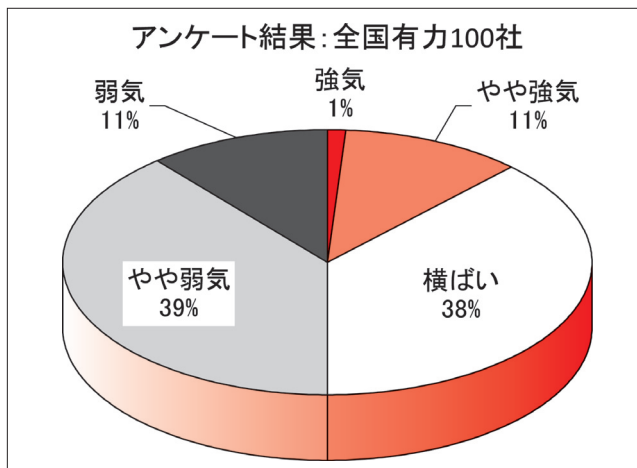
地域別の結果も、大多数は「やや弱気」か「横ばい」だった。東日本は「横ばい」が38%で最も多かった。次いで「やや弱気」が35%となった。「やや強気」は16%、「弱気」は8%、「強気」は3%だった。中部・東海は「やや弱気」が45%で最も多かった。次いで「横ばい」が30%、「弱気」が15%、「やや強気」が10%と続いた。西日本は「横ばい」が42%で最も多かった。次は「やや弱気」の39%だった。「弱気」は12%、「やや強気」は7%、「強気」はゼロだった。

<個別コメント(一部)>

・10～12月の溶銹コストは、原料値下げが確実に下落の見込み、鋼材価格は中国の安売りに押され上昇の見

込みなし。スクラップ価格は一段安の状況。

・足元は港を中心に下げ気配だが、9月は各地場メーカーが増産予定。三連休前に強基調に転じるのでは。



Innovation for further growth

製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401代 FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:9月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:8月28日～9月5日 ■回答率:97.0%(東日本92.5%、中部・東海100.0%、西日本100.0%)